

# 平成 29 年度農作物病害虫発生予察技術資料第 12 号

平成 30 年(2018 年) 3 月 15 日  
山 口 県 病 害 虫 防 除 所

## タマネギべと病の発生状況と防除対策について

3 月上旬に実施した巡回調査と県内一斉調査において、タマネギべと病が平年に比べやや多い状況となっています。

つきましては、下記のとおり防除対策の徹底をお願いします。

### 記

#### 1 発生状況

ア 3 月上旬の巡回調査で、発生ほ場率 3.6%(平年 3.3%)、発病株率 0.1%(平年 0.3%)で平年に比べやや多かった(図 1)。

イ 3 月上旬の県内一斉調査で、発生ほ場率 7.1%(平年 4.8%)、発病株数 1.02 株/a(平年 0.40 株/a)で平年に比べやや多かった(表 1)。

ウ 上記の二つの調査で、二次感染株が認められ、発生が拡大しつつある。

#### 2 今後の予想

ア 発生地域 県内全域

イ 発生程度 やや多

#### 3 防除対策

ア 越年り病株(写真 1)の発生を認めた場合は、早期に抜き取り適正に処分する。

イ ほ場をこまめに見回り、二次感染株の発生を確認した場合は(写真 2)、治療効果がある薬剤(殺菌剤コード 4、11、27、40 及び 43 を含む薬剤)で直ちに防除を行う(表 2)。

ウ 薬剤散布後は防除効果を確認し、その後も新たに発生が認められる場合は、殺菌剤コードの異なる薬剤で 7 日~10 日後に追加防除を行う。

エ 発生していないほ場でも、7 日~10 日間隔で予防防除(殺菌剤コード M01、M03、M05、U17、21 及び 29 を含む薬剤)を徹底する(表 2)。

#### 4 防除上注意すべき事項

ア 耐性菌発生防止のため、同一の殺菌剤コードの薬剤を連用しない。

イ 薬剤の付着をよくするため、水和剤には展着剤を加用する。

ウ 適正な薬剤散布作業の実施、農薬使用基準の遵守など安全で効果的な防除に努める。

#### 【参考】

##### 殺菌剤コード(FRACコード)とは?

殺菌剤の有効成分を作用点と作用機構から分類した番号や記号のこと。本コードが異なる薬剤を使用することで、同一系統の薬剤の連用を防ぐことができる。

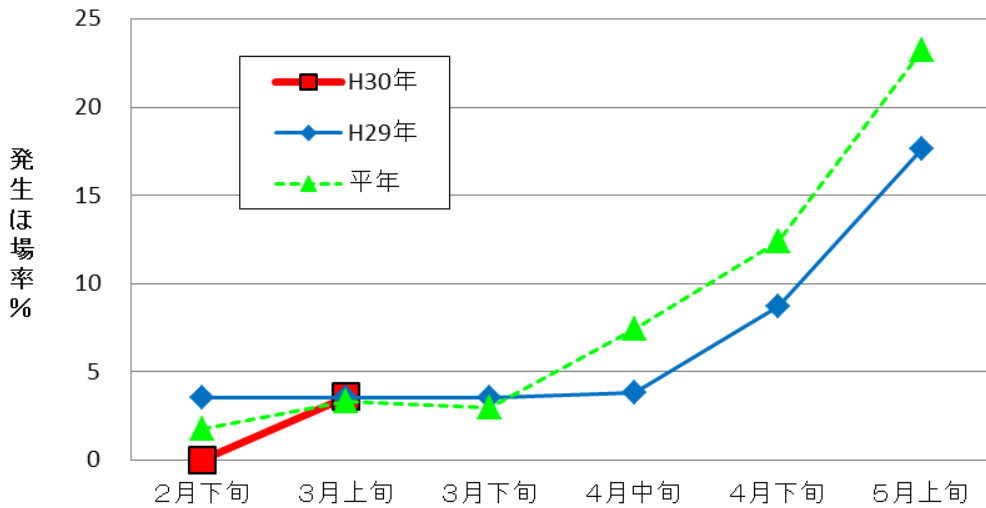


図1 タマネギべと病の発生推移

表1 3月上旬に実施した県内一斉調査のタマネギべと病等の発生調査結果(169ほ場)

病害名	発生現況		発生状況	今後の発生予想
	平年比	前年比		
べと病	やや多	前年並	べと病越年り病株の発生ほ場率は7.1% (平年4.8%)、発病株数は1.02株/a (平年0.40株/a) で平年に比べやや多かった。	やや多
白色疫病	少	少	発生ほ場率は0% (平年15.8%)、発病株数は0株/a (平年8.2株/a) で平年に比べ少なかった。	少
腐敗病	少	少	発生ほ場率は0.6% (平年7.1%)、発病株数は0.30株/a (平年0.34株/a) で平年に比べ少なかった。	少
軟腐病	平年並	前年並	発生ほ場率は0% (平年0.4%)、発病株数は0株/a (平年0.04株/a) で平年並みであった。	平年並



写真1 タマネギべと病越年り病株



写真2 タマネギべと病の二次感染の病斑

表2 タマネギべと病の主な防除薬剤一覧（平成30年3月現在）

系統	殺菌剤コード	一般名	商品名	べと病		希釈倍数・使用量 散布液量	使用時期 (収穫前日数)	使用回数	使用方法	成分含む 使用回数
				○	○					
アミド	4 M05	メタラキシルM・TPN水和剤 3.3,32%	フォリオゴールド(普)	○	○	800~1000倍,100~400リットル/10a	収穫7日まで	3回以内	散布	メタラキシル及びメタラキシルM4回以内(種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)TPN6回以内
有機硫黄 アミド	M03 4	マンゼブ・メタラキシルM水和剤 64,3.8%	リドミルゴールドMZ(普)	○	○	1000倍、100~300L/10a	収穫7日まで	3回以内	散布	マンゼブ5回以内,メタラキシルおよびメタラキシルM4回以内(但し、種子への処理は1回以内、は種後は3回以内)
アミド	7 M05	ベンチオピラド・TPN水和剤 6,4.40%	ベジセイバー(普)	○	○	1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	ベンチオピラド4回以内TPN6回以内
ストロビルリン	11	アゾキシストロビン水和剤 20%	アミスター20フロアブル(普)	○	○	2000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	4回以内	散布	アゾキシストロビン4回以内
		ピコキシストロビン水和剤 22.5%	メジャーフロアブル(普)	○	○	2000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	ピコキシストロビン3回以内
ストロビルリン	11 M05	アゾキシストロビン・TPN水和剤 5.1,40%	アミスターオプティフロアブル(普)	○	○	1000倍,100~400リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	アゾキシストロビン4回以内,TPN6回以内
ストロビルリン	11 7	ピラクロストロビン・ボスカリド水和剤 6.7,26.7%	シゲナムWDG(普)	○	○	1500倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ピラクロストロビン4回以内(定植前は1回以内、定植後は3回以内)、ボスカリド4回以内(定植前は1回以内、定植後は3回以内)
ストロビルリン	27 11	シモキサニル・ファモキサドン水和剤 30,22.5%	ホライズンドライブフロアブル(普)	○	○	2500倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内、ファモキサドン3回以内
—	21	シアゾファミド水和剤 9.4%	ランマンフロアブル(普)	○	○	2000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	4回以内	散布	シアゾファミド4回以内
—	21 27	アミスルブロム・シモキサニル水和剤 17,30%	ダイナモ顆粒水和剤(普)	○	○	2000倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	3回以内	散布	アミスルブロム3回以内、シモキサニル3回以内
—	27 M05	シモキサニル・TPN水和剤 24,60%	ブリザード水和剤(普)	○	○	1200倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内,TPN6回以内
—	27 40	シモキサニル・ベンチアバリアルブイソプロピル水和剤 24,10%	ベトファイター顆粒水和剤(普)	○	○	2000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	シモキサニル3回以内、ベンチアバリアルブイソプロピル3回以内
殺菌剤	29	フルアジナム水和剤 50%	フロンサイド水和剤(普)	○	○	1000~2000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	フルアジナム6回以内(苗根部浸漬は1回以内、散布は5回以内)
殺菌剤	29	フルアジナム水和剤 39.5%	フロンサイドSC(普)	○	○	1000倍~2000倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	5回以内	散布	フルアジナム6回以内(但し、苗根部浸漬は1回以内、散布は5回以内)
—	40 M05	ベンチアバリアルブイソプロピル・TPN水和剤 5.50%	プロボーズ顆粒水和剤(普)	○	○	1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ベンチアバリアルブイソプロピル3回以内,TPN6回以内
アミド	40	マンジプロバミド水和剤 23.3%	レーバスフロアブル(普)	○	○	2000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	2回以内	散布	マンジプロバミド2回以内
有機硫黄	40 M03	ベンチアバリアルブイソプロピル・マンゼブ水和剤 3.75,70%	カンパネラ水和剤(普)	○	○	750~1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	ベンチアバリアルブイソプロピル3回以内,マンゼブ5回以内
アミド	43 28	フルオピコリド・プロバモカルブ塩酸塩 5.5,55.5%	リライアブルフロアブル(普)	○	○	500倍,100~300リットル/10a	収穫14日前まで	2回以内	散布	フルオピコリド3回以内、プロバモカルブ塩酸塩2回以内
アミド	43 40	フルオピコリド・ベンチアバリアルブイソプロピル水和剤 33.12%	ジャストフィットフロアブル(普)	○	○	3000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	フルオピコリド3回以内、ベンチアバリアルブイソプロピル3回以内
—	45 40	アメクトラジン・ジメトモルフ水和剤 27%、20.3%	ザンプロDMフロアブル(普)	○	○	1500~2000倍、100~300リットル/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	アメクトラジン3回以内、ジメトモルフ3回以内
—	U17	ピカルトラゾクス水和剤 50%	ピシロックフロアブル(普)	○	○	1000倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	ピカルトラゾクス3回以内
無機	M01	銅水和剤 84.1%	ドインボルドーA(普)	○	○	500倍,100~300リットル/10a	—	—	散布	—
有機銅		ノニルフェノールスルホン酸銅水和剤 40%	ヨネボン水和剤(普)	○	○	500倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	5回以内	散布	ノニルフェノールスルホン酸銅5回以内
有機硫黄	M03	マンゼブ水和剤 80%	ジマンダイセン水和剤(普)	○	○	400~600倍,100~300リットル/10a	収穫3日前まで	5回以内	散布	マンゼブ5回以内
		ベンコゼブ水和剤(普)	○	○	400~500倍,100~300リットル/10a					
—	M04	キャプタン水和剤 80%	オーソサイド水和剤80(普)	○	○	600倍,100~300リットル/10a	収穫前日まで	5回以内	散布	キャプタン6回以内(但し、種子粉衣は1回以内、は種後は5回以内)
—	M05	TPN水和剤 40%	ダコニール1000(普)	○	○	1000倍,100~300リットル/10a	収穫7日前まで	6回以内	散布	TPN6回以内